

美容業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	12~ 13	被災者は、職場で椅子に座りながらヘアーをカット中、誤って椅子から落ち、右膝を床に強打する。	43	379	1	1 ~ 9
2017	1	9~ 10	買い出し中に、階段でつまずいた。	44	413	1	1 ~ 9
2017	2	9~10	研修準備の最中、椅子を運ぶ際障害物を避けようとしたら滑って転び、右足小指を骨折した。	19	417	2	—
2017	2	8~9	朝に予約が入っていた為、事業場敷地内の駐車場に車を止め、玄関前の花壇の脇の石の上に乗って近道しようとしたところ、足を置いた花壇の石が回るように滑り、左足をねじって手をついて転んだ。痛みがあったが立てたので、そのまま仕事をしたが、夕方から足が腫れ翌日病院へ行ったところ、足首の骨折をしていたものである。	57	417	2	10 ~ 29
2017	3	16~17	カット作業中、誤って左手中指をハサミで切り負傷した。	51	379	8	10 ~ 29
2017	3	11~12	仕事中にトイレに行った際、トイレのドアで右手小指を挟み骨折した。	26	419	7	—
			お客様の髪を切る際、左手で髪をはさみ上下に動かすため左手首をよ				1

2017	3	18~19	く使い、シャンプーをする際も左手で頭を支えるため左手首を酷使する作業を続けていた。そのような状況が続き、左手首に痛みを感じ、徐々に痛みがひどくなり握力が入らなくなり、腫れてきた。	57	911	19	~ 9
2017	3	11~12	施術ルーム内でエレクトロハンドの機器を使用中、ベッドでうつ伏せのお客様の身体をマッサージしていたところ、中腰の姿勢で、腰部分を集中してマッサージした後に身体を移動し、体勢を変えた時に腰に激しい痛みを感じ、力が入りにくくなった後、左臀部から足指先に痺れが出てきた。	35	911	19	~ 29
2017	3	9~10	顧客の左後頭部の毛髪をカットしていた際に、右手に持っていたハサミで左人差し指を切って負傷した。	59	364	8	10 ~ 29
2017	4	11~12	お客様の着物トジを見ている時に、しびれのため正座から立ち上がる時に足がうまくつけず右側に転び、右足の甲からにぶい音が聞こえた。そのあと悪寒がし、甲が腫れてきて、後日に右足甲の剥離骨折と診断された。	42	921	2	—
2017	4	16~17	シャンプー中にお客さまの頭を持ち上げた時、腰に負担がかかり激痛が走った。	35	719	19	~ 9
2017	4	9~10	机などを収納する部屋で机を収納する際、足元に何かが引っ掛かっており、無理に引っ張ったところ机が倒れて足の上に落ちた。	20	529	6	50 ~ 99
2017	5	14~15	ヘルプ勤務先の階段にて、ホテルのフロントから仕事場である地下1階のサロンへ、急いで両手に荷物を持って移動していた時、階段の電気が点灯していなかったため、足元を見誤り転倒し、階段から落ちて左手首を骨折した。	62	413	1	50 ~ 99
2017	5	20~21	サロン内の4階スタッフルームから、3階オフィスに通じる階段において足を踏み外し転んだ。階段最上段から階下まで転落し、頭、両肩、左膝を負傷した。	42	413	1	10 ~ 29

2017	7	20~21	朝、クラブハウス正面玄関前で、ご来場されたお客様の車からキャディバッグを降ろし運ぶ作業をしていた際、雨で濡れていた階段で足を滑らせ転倒しかけて左足首を捻挫した。	25	921	19	~	29	10
2017	7	9~10	業務の清掃後の朝礼を始めるために換気のために開けておいた、消防用の外からも開けられる窓を閉めようとした所ブラインドカーテンのひもが、窓の外側に出ており、このままでは窓が閉められないので、窓枠に上り、手を伸ばし、ひもを取ろうとした際、窓が動き、バランスを崩し、4階より、地上に転落し、全身を強打した。直ちに救急車で病院に運ばれたが、死亡が確認された。	50	418	1	~	29	10
2017	7	11~12	店舗内、2階から1階へ繋がる階段を駆け下りた際、足元をよく見ておらず足を踏み外した。その際、身体を支えようと階段手すりに手をつき、衝撃で左中指の指先を骨折した。	22	413	3	~	29	10
2017	7	13~14	入社以来、美容師として毎日染毛剤を使用していたが、当月中旬頃から染毛剤の成分によるアレルギー反応から手湿疹、接触皮膚炎を発症した。また、それを原因としたカポジ水痘様発疹症（汎発型単純ヘルペス）が、体の至る所に発症した。	20	514	12	~	29	10
2017	9	9~10	お店の敷地内の物置で扉が外れ、足に落ちて指先が負傷した。	19	522	4	~	49	30
2017	9	18~19	帰宅時、店の駐車場で転倒、通院治療していたが、転院先で手術が必要と診断、手術後、リハビリ等で約1ヶ月の休業が必要とのことであった。	38	417	2	~	9	1
2017	10	18~19	就業場所から他店に業務上必要な商品を借りに行く途中、バスに乗ろうとした際、バスのステップに足をぶつけてしまった。1週間ほど湿布を貼り様子を見たが、腫れや痛みが引かなかった。	40	231	3	~	49	30
2017	10	8~9	店舗内シャンプー台付近で、タオルを畳んでいる時に来客があり、急いでタオルをスタッフルームに片付けようとしたところ、床で滑って	42	417	2	~		1

			しまい左肘を打った。				9
2017	10	11~12	被災者はシャンプー・カットのお客様のシャンプーを終え、セット面までご案内し、カットを実施。カット終了後、被災者がナイロン製のカットクロスをお客様から外した時、お客様がシャンプー台にメガネを忘れていた旨を被災者に伝えたため、被災者は、本来ならカットクロスを置いて移動すべきところ、持ったまま小走りでメガネを取りに行った。被災者は持っていたカットクロスを踏んだか、足に引っかかったためバランスを崩し、転倒した。被災者が起きられない状態で顔を押しさえいたため、救急車に連絡。医師の診察を受けた結果、骨折と診断。	57	417	2	50 ~ 99
2017	11	12~13	店舗前玄関部分にて、荷物とゴミの搬出中に玄関の段差部分で踵を踏み外し、バランスを崩して右側に転倒した。その際、右手でかばったが、右手中指の側副靭帯を断裂してしまった。	40	413	2	10 ~ 29
2017	11	14~15	倉庫作業場で商品をダンボールへ梱包中に、後ろを振り返り歩行をしようとしたところ、壁側に保管してあるダンボールの束に足を引っ掛けバランスを崩し、膝から床に落ちるように転倒してしまった。	30	921	19	1 ~ 9
2017	11	11~12	美容室の敷地内の物干し場で踏み台に乗り洗濯物を干していたところ、バランスを崩し踏み台から落下した。落下の際に左腕を強打した。	23	419	1	—
2017	12	16~17	洗髪作業のくり返しによるものである。	45	921	19	30 ~ 49
2017	12	17~18	店舗施術ルームのマット上で、お客様の腕を押し施術していたとき、右腕に力を入れたときに鈍い痛みがはしり、筋肉が切れたような感覚があった。その後、右前腕と二の腕に痛み・だるさ・違和感があり、痛くて力が入れられなくなった。	28	921	19	—
2017	12	7~8	電車と徒歩で通勤し、ロープを跨いで事業場の駐車場敷地内へ入ろう	65	379	2	1 ~

			とした際、誤って足を引っ掛けて転倒し、負傷した。				9
2017	12	15~16	大掃除中、椅子の上に上がって窓を拭いていたところ、バランスを崩して転倒し、両手とお尻をつき、頭を地面にぶつけて切った。	45	371	1	1 ~ 9
2017	12	16~17	店舗裏口から荷物を取りに道路に出ようとして、2段分のブロックから足を捻って着地し、骨折した。	34	921	19	1 ~ 9
2017	12	11~12	店の玄関の開閉が少し重くなっているのだが、最近の顧客は高齢者が多いため、顧客が帰る際に本人が扉を開けて外に出ようとしたところ、段差を踏み違えて右膝を強打した。その後、無理をして仕事を続けたため、手術が必要な状態になった。	56	413	1	1 ~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)